

# 令和4年度事業報告

## (1) 埋蔵文化財発掘調査事業

令和4年度の発掘調査事業は、16事業33遺跡について調査班9班（職員18名）体制で実施した。

内訳は、国土交通省高崎河川国道事務所所管の1事業1遺跡、公共開発関連では15事業32遺跡となる。

国土交通省関連の調査遺跡は、一般国道50号（前橋笠懸道路）建設事業に伴い令和4年11月から令和5年3月にかけて中堀西遺跡（1）を実施した。同事業は平成29年度以降継続的にバイパス区間を対象として実施している。

県公共開発関連の内、継続事業は前橋玉村線の前橋市0946遺跡（2）、南新井前橋線の清水貝戸遺跡（3）、堀之内北遺跡（4）、西毛広域幹線道路関連の三ツ寺鍛冶街道遺跡他（5）から本宿遺跡（8）、下沢渡原町線の八幡原遺跡（10）、昭和インター線の森下宮原遺跡（12）、上信自動車道吾妻東バイパスの小田沢遺跡他（13）、一級河川利根川（伊勢崎・玉村工区）河川改修の西上之宮遺跡他（15）の調査をそれぞれ実施した。

新規事業として、長久保郷原線の土塩中原遺跡（9）、新巻市城線の柳沢遺跡（11）、大間々世良田線の小仁田遺跡（13）、八瀬川堤防事業の古戸諏訪遺跡（16）の調査を実施している。

受託事業によって今年度に占める調査期間を概観すると、西毛広域幹線道路関連27%、上信自動車道吾妻東バイパス関連32%、利根川河川改修関連23%となり、大型公共事業関連が全体の82%であることがわかる。しかし、この大型公共事業における調査班の工程をみると各遺跡の調査期間は1か月～4か月が64%を占め、1か月から6か月では87%となる。大型公共事業にあっても短・中期の調査期間の遺跡が連続していることになる。

上記以外の公共事業は調査期間が1か月～5か月であり、全体の18%となっている。

調査期間でみていくと、短・中期の調査遺跡が主体となるという傾向が認められ、近年の公共事業に伴う発掘調査の特徴となっている。

令和4年度の発掘調査の概要については次のとおりである。

旧石器時代については、それぞれの遺跡において調査を実施した結果、石器等の遺物は確認されていない。

縄文時代については、大規模な集落の確認は認められていないが上信自動車道吾妻東バイパスの厚田中村遺跡、新巻膝附遺跡等で竪穴建物や土坑が調査されている。利根川河川改修の樋越薬師遺跡（玉村町）では玉村町域では初例となる敷石竪穴建物が1棟確認された。

弥生時代については、上信自動車道吾妻東バイパスの厚田中村遺跡、下沢渡原町線の八幡原遺跡、利根川河川改修の東上之宮遺跡等で竪穴建物や土坑が調査されている。

古墳時代については、集落（竪穴建物）、水田等が数多くの遺跡で調査された。前橋笠懸道路の中堀西遺跡、西毛広域幹線道路の宮久保遺跡、上信自動車道吾妻東バイパスの厚田中村遺跡、小田沢遺跡等で竪穴建物が調査され、西毛広域幹線道路の保渡田阿弥陀遺跡、保渡田坂詰遺跡では榛名山噴火による泥流に覆われた水田が確認されている。利根川河川改修の西上之宮遺跡（14）は、昨年度から古墳群の調査が行われ、貴重な調査成果が得られている。現在までに10基以上が確認され、5世紀後半から6世紀後半にかけて形成された古墳群と考えられる。6号古墳（5世紀末）は全長50mの大型の帆立貝形古墳で、希少例である「騎馬人物型土製品」等も出土している。また、古墳の墳丘下から古墳時代の竪穴建物が確認されたことから、集落から古墳群へと変遷した経過も判明しつつある。また、隣接する東上之宮遺跡では方墳（4世紀）、円墳（6世紀）等も確認されていることから、大規模な古墳群の存在も明らかになってきた。

古代（奈良・平安時代）も多くの遺跡で調査されている。前橋笠懸道路の中堀西遺跡では集落と共に、弘仁9（818）年の地震による洪水層や天仁元（1108）年の浅間山噴火による火山噴出物に覆われた水田が確認された。西毛広域幹線道路の三ツ寺鍛冶街道遺跡では、奈良・平安時代の大規模な集落や道路状遺構が調査されている。昭和インター線の森下宮原遺跡は昨年度から継続して竪穴建物群や根石を設置した掘立柱建物群が調査されている。上信自動車道吾妻東バイパスの小田沢遺跡は竪穴建物、掘立柱建物、井戸、畑等が調査された。注目される遺物として竪穴建物（9世紀）からほぼ完形の「浄瓶（じょうへい）」が出土した。また、天竜遺跡の竪穴建物（8世紀）から完形の「銅鉢（どうわん）」が出土するなど、隣接する古代寺院「金井廃寺」との関連も注目されている。

なお、利根川河川改修の西上之宮遺跡（4月16日、195名）、昭和インター線の森下宮原遺跡（6月4日、82名）、上信自動車道吾妻東バイパスの小田沢遺跡（10月8日、151名）で遺跡説明会を開催した。

ア 幹線交通関連埋蔵文化財発掘調査

(単位：千円)

区分	遺跡名	所在地	面積 m <sup>2</sup>	受託費	委託者
前笠道路	1 中堀西遺跡	伊勢崎市野町	4,845.00	88,107	国土交通省
幹線交通関連計			4,845.00	88,107	

イ 公共開発関連埋蔵文化財発掘調査

(単位：千円)

区分	遺跡名	所在地	面積 m <sup>2</sup>	受託費	委託者	
県公共開発関連	2 前橋市0946遺跡	前橋市朝倉町	2,066.00	31,002	県土整備部	
	3 清水貝戸遺跡	北群馬郡榛東村新井	1,539.00	26,559		
	4 堀之内北遺跡	北群馬郡榛東村新井	705.00	11,758		
	5	三ツ寺鍛冶街道遺跡ほか(2遺跡)	高崎市三ツ寺町	9,273.00		296,745
		保渡田阿弥陀遺跡ほか(3遺跡)	高崎市保渡田町	5,945.00		
	6 下里見番場遺跡	高崎市下里見町	2,789.00	28,420		
	7	宮久保遺跡ほか(2遺跡)	安中市上間仁田	9,790.00		135,525
		一本木遺跡	安中市安中	1,068.00		
	8 本宿遺跡	安中市安中	847.00	20,338		
	9 土塩中原遺跡	安中市松井田	776.00	10,213		
	10 八幡原遺跡	吾妻郡東吾妻町原町	489.00	9,929		
	11 柳沢遺跡	吾妻郡東吾妻町新巻	1,052.00	13,036		
	12 森下宮原遺跡	利根郡昭和村森下	3,588.00	57,036		
	13 小仁田遺跡	みどり市笠懸町鹿	4,021.00	52,008		
	14 小田沢遺跡ほか(6遺跡)	吾妻郡東吾妻町岩井他	44,488.00	611,594		
	15 西上之宮遺跡ほか(2遺跡)	伊勢崎市西上之宮他	37,270.00	452,278		
16 古戸諏訪遺跡	太田市古戸町	243.00	9,080			
公共開発関連計			125,949.00	1,765,521		
発掘調査事業費合計			130,794.00	1,853,628		

## (2) 埋蔵文化財発掘調査整理事業

令和4年度は、21事業48遺跡について整理を実施し、17冊の報告書を刊行した。実施した遺跡の内訳は、国交省関連で4遺跡、公共開発関連で44遺跡である。このうち、国交省関連での報告書刊行はなく、公共開発関連では西毛広域幹線道路や前橋長瀬線関連などで17冊の報告書を刊行した。

国交省関連では、国道50号前橋笠懸道路関連の柳田遺跡、多田山東遺跡、今井北原遺跡、中堀東遺跡の整理を実施した。柳田遺跡・今井北原遺跡・中堀東遺跡の3遺跡については、令和5年度に整理を継続し、多田山東遺跡は既調査部分について令和5年度に報告書1冊の刊行を予定している。多田山東遺跡は、大規模な区画遺構の発見で注目された遺跡であり、区画遺構についても報告予定である。

県公共開発関連では、前橋玉村線関連の前橋市0946・0635遺跡について令和3年度から整理を継続しており、令和5年度に報告書刊行を予定している。南新井前橋線関連では前橋市0107遺跡の整理を実施し、『前橋市0107遺跡』の報告書を刊行した。

利根川堤防関連では、西上之宮遺跡と樋越薬師遺跡について通年で整理を実施し、令和5年度に継続する。西上之宮遺跡では、天明泥流と洪水層に埋もれた古墳群が調査され注目を集めただけでなく、板碑などの多数の石造物が出土した中世墓が発見されている。

西毛広域幹線道路関連では、本郷満行原遺跡他7遺跡と、本郷鶴楽遺跡、下里見天神前遺跡、上芝西龍之宮遺跡、下芝上田屋遺跡、保渡田屋敷廻り遺跡の整理を実施し、『本郷上ノ台遺跡・本郷満行原遺跡・本郷広神遺跡・本郷西谷津遺跡・本郷大力サ遺跡・本郷鶴窪遺跡・本郷萱原遺跡・本郷鳴上遺跡』、『本郷鶴楽遺跡』、『下里見天神前遺跡』、『上芝西龍之宮遺跡・下芝上田屋遺跡』の4冊の報告書を刊行した。上芝西龍之宮遺跡と下芝上田屋遺跡については、当初2冊の報告書刊行を予定していたが、調整の結果合冊での刊行となった。本郷満行原遺跡他の報告書では、礎石建物や古代瓦、八稜鏡埋納遺構など寺院に関連すると考えられる遺構・遺物が報告されている。また、本郷鶴楽遺跡では、平安時代以降の竪穴建物など多くの遺構・遺物が報告されており、本郷満行原遺跡とあわせて注目されている。

前橋長瀬線関連では、綿貫 41 遺跡他として整理を実施した拡幅部分について『綿貫原北遺跡・綿貫原遺跡・綿貫原前遺跡・綿貫三反割遺跡・綿貫反町遺跡』として 1 冊の報告書を刊行し、街路事業として整理を実施した綿貫 41 遺跡他については、令和 5 年度に整理を継続し報告書刊行の予定である。

寺尾藤岡線関連では、『木部下久保田遺跡・山名赤沼遺跡』と『山名土合遺跡・根小屋赤沼遺跡』の 2 冊の報告書を刊行した。

八瀬川関連では阿左美遺跡の整理を通年で実施し、『阿左美遺跡』の報告書 1 冊を刊行した。報告書では、縄文時代中期の土器など多数の資料が報告されている。

足利伊勢崎線関連では『石橋地蔵久保遺跡』、世良田交差点関連では『世良田環濠集落』、今泉館林線関連で『上江黒遺跡』、沼田赤城線関連で『貝野瀬堀ノ内遺跡』の報告書をそれぞれ刊行した。国道 254 号関連の福島下町・屋敷下遺跡は、令和 3 年度から整理を継続し『福島下町・屋敷下遺跡』を刊行した。

上信自動車道吾妻東バイパス関連では、『厚田中村遺跡 (2)』の報告書 1 冊を刊行し、小田沢遺跡・下泉 A 遺跡・下泉 B 遺跡については、令和 5 年度に整理を継続する。

植栗伊勢線関連では、植栗中原遺跡、小湊沢 B 遺跡、植栗山根 A 遺跡の 3 遺跡の整理を実施し、『植栗中原遺跡・小湊沢 B 遺跡』と『植栗山根 A 遺跡』の 2 冊の報告書を刊行した。特に植栗山根 A 遺跡では、縄文晩期、植栗中原遺跡では縄文時代草創期の資料を報告しており、報告事例の少ない時期の資料を提供することとなった。

桐生田沼線無電柱化関連の桐生新町水路跡は、令和 4 年度で整理作業は終了し、令和 5 年度に報告書刊行だけを行う予定である。

了 幹線交通関連埋蔵文化財調査整理

(単位：千円)

区分	遺跡名	所在地	報告書名	受託費	委託者
前立道路	1 柳田遺跡	伊勢崎市赤堀今井町		23,914	国土交通省
	2 多田山東遺跡・今井北原遺跡			22,248	
	3 中堀東遺跡			1,543	
	小計			47,705	
	幹線交通関連計		0冊	47,705	

イ 公共開発関連埋蔵文化財調査整理

(単位：千円)

区分	遺跡名	所在地	報告書名	受託費	委託者	
県公共開発関連	4 前橋市0107遺跡	前橋市池端町	『前橋市0107遺跡』	9,453	県土整備部	
	5 前橋市0946・0635遺跡	前橋市下佐鳥町・朝倉町		16,471		
	6 西上之宮遺跡	伊勢崎市西上之宮町		48,312		
	7 樋越薬師遺跡	佐波郡玉村町				
	8 本郷満行原遺跡他7遺跡	高崎市本郷町	『本郷上ノ台遺跡・本郷満行原遺跡・本郷広神遺跡・本郷西谷津遺跡・本郷大力サ遺跡・本郷鶴窪遺跡・本郷萱原遺跡・本郷鳴上遺跡』	73,049		
	9 本郷鶴窪遺跡		『本郷鶴窪遺跡』			
	10 下里見天神前遺跡	高崎市下里見町	『下里見天神前遺跡』			
	11 上芝西龍之宮遺跡	高崎市箕郷町	『上芝西龍之宮遺跡・下芝上田屋遺跡』	11,976		
	12 下芝上田屋遺跡					
	13 保渡田屋敷廻り遺跡他1遺跡	高崎市保渡田町		3,010		
	14 綿貫41遺跡他1遺跡(拡幅)	高崎市綿貫町	『綿貫原北遺跡・綿貫原遺跡・綿貫原前遺跡・綿貫三反割遺跡・綿貫反町遺跡』	9,990		
	15 綿貫41遺跡他1遺跡(街路)			15,146		
	16 木部下久保遺跡・山名赤沼遺跡	高崎市山名町	『木部下久保田遺跡・山名赤沼遺跡』	18,238		
	17 山名土合遺跡・根小屋赤沼遺跡	高崎市山名町・根小屋町	『山名土合遺跡・根小屋赤沼遺跡』			
	18 阿左美遺跡	みどり市笠懸町	『阿左美遺跡』	26,962		
	19 桐生新町水路跡	桐生市本町		21,306		
	20 石橋地藏久保遺跡	太田市石橋町・寺井町	『石橋地藏久保遺跡』	7,126		
	21 世良田環濠集落	太田市世良田町	『世良田環濠集落』	3,200		
	22 上江黒遺跡	邑楽郡明和町上江黒	『上江黒遺跡』	8,459		
	23 福島下町・屋敷下遺跡	甘楽郡甘楽町福島	『福島下町・屋敷下遺跡』	12,681		
	24 南蛇井北原田遺跡・蚊沼大神分遺跡	富岡市中沢		20,772		
	25 森下宮原遺跡	利根郡昭和村森下		22,461		
	26 貝野瀬堀ノ内遺跡	利根郡昭和村貝野瀬	『貝野瀬堀ノ内遺跡』	4,510		
	27 厚田中村遺跡	吾妻郡東吾妻町大字厚田	『厚田中村遺跡(2)』	22,045		
	28 小田沢遺跡・下泉A遺跡・下泉B遺跡					
	29 植栗中原遺跡・小淵沢B遺跡	吾妻郡東吾妻町大字植栗	『植栗中原遺跡・小淵沢B遺跡』	38,526		
	30 植栗山根A遺跡					『植栗山根A遺跡』
		公共開発関連計		17冊		393,693
		整理事業費合計		17冊		441,398

### (3) 普及啓発事業

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症への感染症対策を講じて発掘情報館の開館を続けた。展示室は10名を超えたら状況を見ながら入場制限や分散措置を講じ、収蔵展示室の手で触れる引出展示は閉鎖とした。体験学習は予約制で午前(勾玉づくり)午後(土器づくり)の1回ずつ、定員6人までとして実施。図書室の利用も予約制とし、時間制限を設けて(1回90分・1日3コマ設定)各回定員2名とした。また、2階研修室を利用した講演会については予約制で定員48名とした。来場者用のロッカーも使用停止とした。また、空調設備工事のため、工事対象となる発掘情報館全館と第3収蔵庫2階の収蔵展示室については、9月5日から翌令和5年2月18日まで閉鎖とした。普及課も10月12日から1月25日まで発掘情報館2階学習相談室から本館2階第2研究室に仮移転し業務を行った。

受託事業については、最新情報展の第1期として「唐堀遺跡から見えてきた山間の縄文人」(5月22日(日)~9月4日(日))を実施し、空調工事期間終了後に第2期「まるごと金井遺跡群一榛名に生きた古墳人」(令和5年2月19日(日)~8月27日(日))を年度を跨いで実施している。埋蔵文化財専門講座(教員対象:8月3日(水)・4日(木)、行政担当者対象:令和5年2月22日(水))は、例年より日数、講座数を縮小しての開催となった。夏休み親子宿題教室(7月21日(木)~8月16日(火))は予約制・定員12人とし、体験メニューを限定して実施した。通年の出土遺物保存管理業務、資料利用と資料借用業務については、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を徹底して実施した。令和4年度の発掘情報館来館者数は3,472人、うち日曜開館の来館者は805人であった。

なお、新たに群馬県所蔵出土遺物の3Dアーカイブ化を3か年かけて実施することとなった。初年度の令和4年度は、縄文土器30点について3Dデータを構築した。

自主事業では、ぐんま考古学講座として、村上恭通先生(愛媛大学大学院教授・愛媛大学アジア古代産業考古学研究センター長)をお招きした講演会「鉄と馬が共存する古代社会の鉄器生産ーモンゴル・グング遺跡と群馬・金井下新田遺跡を中心にー」を令和5年2月4日(土)に前橋テルサホールにおいて、予約制・座席数1席空けにて開催した。最新情報展第1期関連企画の職員による講演会「唐堀遺跡から読み解く縄文人の暮らし」を6月12日(日)と19日(日)の2回開催し、第2期のギャラリートークを3月19日に開催した。これら最新情報展関連企画は、コロナ禍のため埋蔵文化財講座の代替行事として実施した。また、ぐんま遺跡報告会を7月10日(日)に開催し、4遺跡を報告した。体験学習については、時間・人数・体験メニューを制限するなかで実施した。

ア 受託事業（委託者：地域創生部）

（ア）普及活動等 受託費：25,031千円

①展示普及(展示普及一般・普及啓発嘱託員設置)

普及啓発活動のための嘱託職員1名の配置を継続した。

②最新情報展・関連企画

事項	期間	場所	参加者	概要・テーマ
最新情報展				遺跡の発掘・整理成果を展示公開
第1期展示	令和4年5月22日(日) ～9月4日(日)  (令和4年9月5日～5年2月18日発掘 情報館空調設備工事のため休館)	発掘情報館 資料展示室	2,160人	「唐堀遺跡から見えてきた山間の縄文人」
第2期展示	令和5年2月19日(日) ～8月27日(日)	資料展示室	458人 (令和4年度のみ)	「まるごと金井遺跡群－榛名に生きた古墳人－」

事項	期間	場所	参加者	概要・テーマ
第1期講演会	令和4年6月12日(日)、 6月19日(日) 13:00～15:00	発掘情報館 研修室	51人 6/12・29人 6/19・22人	「唐堀遺跡から読み解く縄文人の暮らし」 講師：関口博幸（事業団職員）
第2期ギャラ リートーク	令和5年3月19日(日) 10:00-11:00、13:00-14:00	資料展示室	9人	「まるごと金井遺跡群－榛名に生きた古墳人－」 講師：小島敦子（事業団職員）

③埋蔵文化財専門講座

事項	期間	場所	参加者	概要・テーマ
教員コース	令和4年8月3日(水) 8月4日(木)	発掘情報館 研修室 三ツ寺鍛冶街道遺跡	25人	・「授業に活かすぐんまの遺跡」埋蔵文化財の調査成果を学校の歴史学習や地域学習等に活用するための講座 ・発掘体験実習
埋蔵文化財 行政コース	令和5年2月22日(水)	発掘情報館 研修室	6人	市町村教育委員会の文化財担当者を対象とした考古学、埋蔵文化財の基礎知識や最新の研究成果、文化財保護及び埋蔵文化財の動向等を習得する講座

④夏休み親子宿題教室

事項	期間	場所	参加者	概要・テーマ
夏休み親子 宿題教室	令和4年7月21日(木)～ 8月16日(火)	発掘情報館 体験学習室	215人	夏休み期間中に小・中学生を中心に土器作りや勾玉作り、土器やハニワの写生などを実施。期間中の入館者は524人。

⑤出土遺物保存管理

事項	概要
遺物管理 台帳作成	○作成遺跡  下里見天神前遺跡/貝野瀬堀ノ内遺跡/世良田環濠集落遺跡(3)/綿貫原北遺跡/綿貫原遺跡/綿貫原前遺跡/綿貫三反割遺跡/綿貫反町遺跡/福島下町・屋敷下遺跡/前橋市0107遺跡(2)/木部下久保田遺跡/山名赤沼遺跡/厚田中村遺跡(2)/上江黒遺跡/下芝上田屋遺跡・上芝西龍之宮遺跡/山名土合遺跡・根小屋赤沼遺跡/植栗中原遺跡・小淵沢B遺跡/石橋地藏久保遺跡(2)/本郷上ノ台遺跡/本郷満行原遺跡/本郷広神遺跡/本郷西谷津遺跡/本郷大カサ遺跡/本郷鶴窪遺跡/本郷萱原遺跡/本郷嶋上遺跡/本郷鶴楽遺跡/阿佐美遺跡/植栗山根A遺跡  この台帳をもとに、収蔵庫内の遺物の管理や活用を行っている。

⑥出土品の3Dアーカイブ化

事項	期間	場所	対象遺物	概要・テーマ
出土品の3Dアーカイブ化	令和4年5月1日(日)～ 令和5年2月28日(火)	発掘情報館 遺跡情報室	30点 (縄文土器)	群馬県所蔵の出土遺物の3Dアーカイブ化を行い、埋蔵文化財に対するより具体的な理解を図り普及活用に寄与する。3年計画で実施。

(イ) 施設管理 受託費：15,610千円

群馬県埋蔵文化財調査センター施設の維持管理

(ウ) 金井遺跡群出土品調査整理 受託費：2,234千円

金井遺跡群出土品の国指定に向けての調査整理

イ 自主事業 事業費：5,189千円

①ぐんま考古学講座（従来の調査遺跡発表会と公開考古学講座を統合して実施）

事項	期間	場所	参加者	講師
ぐんま考古学講座	令和5年2月4日(土)	前橋テルサ ホール	132人	【講演】「鉄と馬が共存する古代社会の鉄器生産ーモンゴル・グング遺跡と群馬・金井下新田遺跡を中心にー」 講師：愛媛大学大学院教授・愛媛大学アジア古代産業考古学研究センター長 村上恭通先生

②埋蔵文化財講座

事項	期間	場所	参加者	概要・テーマ
埋蔵文化財講座				最新情報展関連企画で代替実施

③一般普及事業

事項	期間	場所	参加者	概要・テーマ
県民の日記念事業	令和4年10月28日(金)	本館・調査研究館・収蔵庫	28人	発掘情報館は空調設備工事により閉館中のため、バックヤードツアー実施。 「缶バッジ」プレゼント
大人のための冬の古代体験教室				発掘情報館空調設備工事により閉館中のため中止

④発掘調査現地説明会等

遺跡名	期日	所在地	参加者	概要
にしかみのみや 西上之宮	令和4年4月16日(土)	伊勢崎市西上之宮町	195人	利根川による堆積層に埋もれた未知の古墳群
もりしたみやばら 森下宮原	令和4年6月4日(土)	利根郡昭和村森下	82人	掘立柱建物群が特徴的な古代の集落
しみずがいと 清水貝戸	令和4年9月6日(火)	北群馬郡榛東村新井	26人	平安時代水田跡 (榛東中学校2年生による見学)
おだざわ 小田沢	令和4年10月8日(土)	吾妻郡東吾妻町植栗・岩井	151人	古代集落、仏器(浄瓶)出土 ※上信道バイパス建設事業に伴う発掘調査遺跡。東吾妻町内で実施されている同事業の数か所の遺跡の調査成果もあわせて紹介

ウ 施設利用状況等

項目	概要						
	区分	件数			点数		
		3年度	4年度	比較	3年度	3年度	比較
資料の利用状況	利用	36件	76件	40件	3,084	3,329	245点
	貸出	119件	196件	77件	4,180	4,190	10点
	体験学習機材貸出	5件	1件	△4件	-	-	-
見学・体験学習	区分	件数			人数		
			3年度	4年度	比較	3年度	4年度
	学校等団体	2件	2件	0件	14人	108人	94人
	その他団体	2件	6件	4件	25人	94人	69人
	その他個人	-	-	-	-	-	-

項 目	概 要						
土器作り等の 指導派遣等	区 分	件 数			生 徒 数		
		3年度	4年度	比較	3年度	4年度	比較
	学校等〔出前授業〕	6件	8件	2件	325人	428人	103人
一 般〔出前講座〕	0	1件	1件	0	52人	52人	
図書業務	区 分	件 数			人 数		
		3年度	4年度	比較	3年度	4年度	比較
	書籍等貸出	2,680冊	2,571冊	△109冊	373人	300人	△73人
図書受入	2,335冊	2,132冊	△203冊	-	-	-	
保存処理業務	区 分	件 数			人 数		
		3年度	4年度	比較	3年度	4年度	比較
	木器関係の保存処理	83点	97点	14点			
	木器関係のプレパレート作成	1点	0点	△1点			
	木器関係の実測	0	14点	14点			
	木材樹種同定	1点	0点	△1点			
	金属器の錆落とし	1,076点	814点	△262点			
	X線写真撮影	471点	790点	319点			
	赤外線写真撮影	6点	1点	△5点			
	土層剥取	1点	0点	△1点			
	遺物の取り上げ	1点	0点	△1点			
	金属・木・竹製品修復	8点	79点	71点			
	特殊脆弱遺物精査・クリーニング・強化処理	11点	98点	87点			
市町村技術援助	10件	32件	22件				
発掘情報館 業務	区 分	件 数			人 数		
		3年度	4年度	比較	3年度	4年度	比較
	入 館 者 (年間)	3,161人	3,472人	311人			
夏休み親子宿題教室(夏休み期間) (再掲)	501人	215人	△286人				
職場体験学習等	6月7日(火)～9日(木) 渋川市立北橋中学校生徒4人						
	8月23日(火) 県文化財保護課インターンシップ2人(大学生1、高校生1)						
	11月29日(火)～12月1日(木) 県立高崎北高等学校1年生生徒6人						
情報誌の刊行	「埋文群馬」№68の刊行(pdfファイルを事業団ホームページで公開)						
年報の刊行	「年報」41号の刊行(pdfファイルを事業団ホームページで公開)						
研究紀要の刊行	「研究紀要」41号の刊行						

## エ マスコミ取材

メディア	取材・撮影または掲載	内容	備考
上毛新聞社	令和4年7月10日(日)取材	7月10日開催の「ぐんま遺跡報告会」について取材。開催の経緯・内容のほか、県内の発掘調査状況や発掘調査情報の入手方法について質問を受ける。	
上毛新聞社	令和4年9月9日(金)掲載	8月23日に当事業団ホームページにおいて、東吾妻町の小田沢遺跡で出土した「浄瓶」(9世紀前半と推定)を発掘情報館資料展示室で展示公開したことを紹介したことを受け、取材が行われた。	
読売新聞社	令和4年11月22日(水)掲載	10月8日に東吾妻町の小田沢遺跡で地元住民向けに現地説明会を実施し、小田沢遺跡出土の「浄瓶」、近隣の天竜遺跡出土の「銅鏡」(8世紀)が展示されたことを受け、取材がなされた。	
読売新聞社	令和5年2月22日(水)掲載	2月19日(日)に開始した令和4年度最新情報展第2期「まるごと金井遺跡群- 榛名に生きた古墳人 -」への取材。金井下新田遺跡の発掘成果も含めた金井遺跡群を振り返る展示は初めてであり注目された。	令和5年4月11日(火)Web報道、翌12日(水)新聞報道

## ○連載・特集記事

読売新聞社	「集まれ！群馬のはにわ」シリーズへの寄稿・掲載	県文化振興課が主宰し読売新聞紙上で群馬県内出土のハニワの中から県市町村をはじめ関係職員等のイチ押しハニワを順次紹介する連載企画。令和3年8月から連載開始。当事業団のほか、群馬県立歴史博物館、高崎市かみつけの里博物館、東京国立博物館など、県内外の所有者・管理者が紹介記事を分担執筆する。	当事業団は令和4年度末までに6個体を執筆し掲載済。
上毛新聞社	当事業団の発掘調査の最新情報を「県埋蔵文化財調査事業団発掘2022」として連載	1月31日(火)東吾妻町小田沢遺跡出土の浄瓶、2月7日(火)高崎市の三ツ寺鍛冶街道遺跡の東西の道路跡と溝跡、2月21日(火)昭和村の森下宮原遺跡の掘立柱建物群、3月14日(火)東吾妻町の天竜遺跡出土の銅鏡、3月21日(火)伊勢崎市の西上之宮遺跡の古墳群について、それぞれ調査にあたった事業団職員が執筆し、掲載された。	令和5年1～3月に計5回掲載